

ペットボトルリサイクル率 100%を目指して

リサイクル推進団体『グリーンベース東京』

本日のテーマ

『ペットボトルリサイクル率100%を目指して』

<トピック>

1. 地球温暖化・海洋プラスチック問題について
2. ペットボトルのリサイクルの現状と課題
3. リサイクル率100%を目指して

地球温暖化・海洋プラスチック問題 について

地球温暖化の深刻化

- CO2などの温室効果ガスの増加→地球温暖化
- 地球温暖化によって多くのリスクが発生する
 - 洪水や海面上昇、水資源の不足
 - 干ばつや気候変化による食料不足
 - 生態系への影響、疫病の発生
- 日本の温室効果ガス排出量の削減目標
2030年度26%削減（2013年度比）

海洋プラスチック問題

- 海洋に流出したプラスチックごみがマイクロプラスチックに
- マイクロプラスチックを海洋生物が摂取し続けると悪影響がでる
- プラスチックごみが海洋でマイクロ化する前の取り組みが重要



ペットボトルのリサイクルの現状と 課題

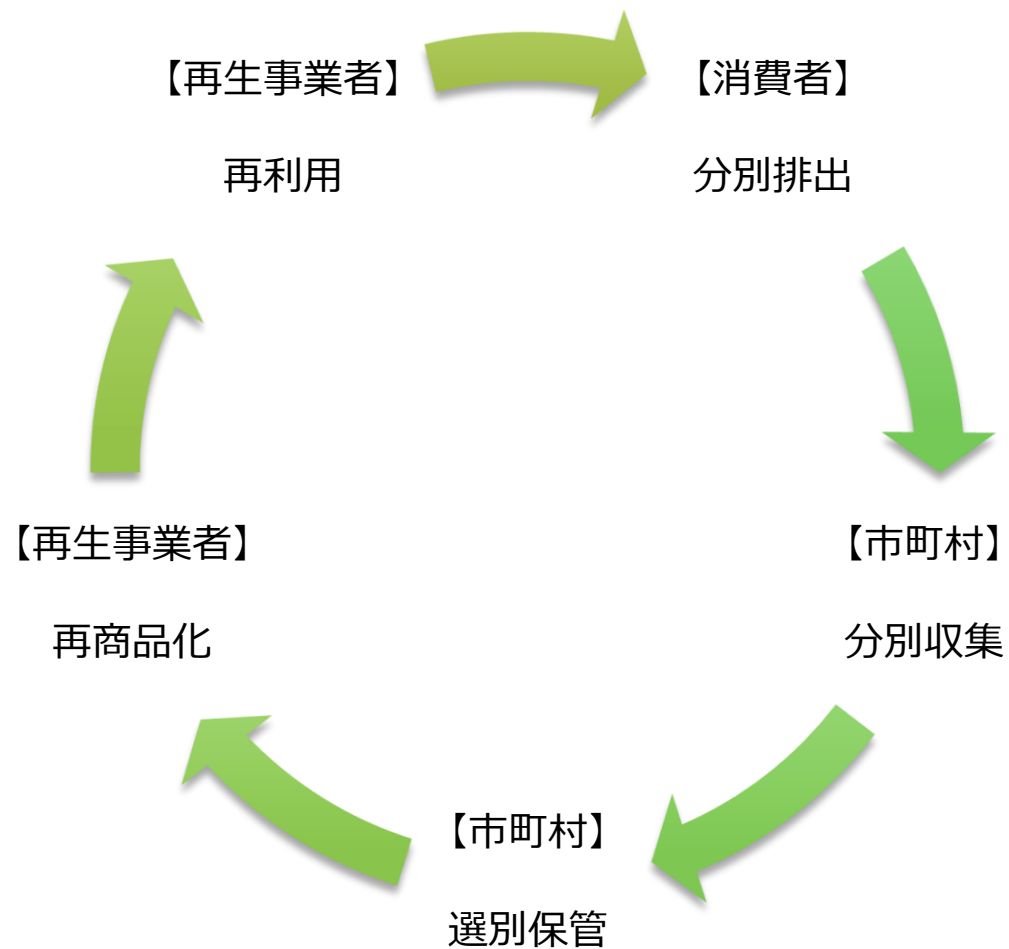
身近なペットボトルもっと詳しく

- ペットボトルの原料は『ポリエチレンテレフタレート』
- Poly Ethylene Terephthalateの頭文字をとって『PET』
- 食品の包装材やポリエステル衣料の繊維などと同じ
- ペットボトルの年間消費量は5000億本以上

ペットボトルのリサイクル

- ペットボトルは再利用しやすい素材
- リサイクルした場合、CO₂の総排出量は約40%減
- 水平リサイクル（ボトルtoボトル）とカスケードリサイクル
- リサイクルできるペットボトルには『識別表示マーク』がついている

リサイクルの流れ

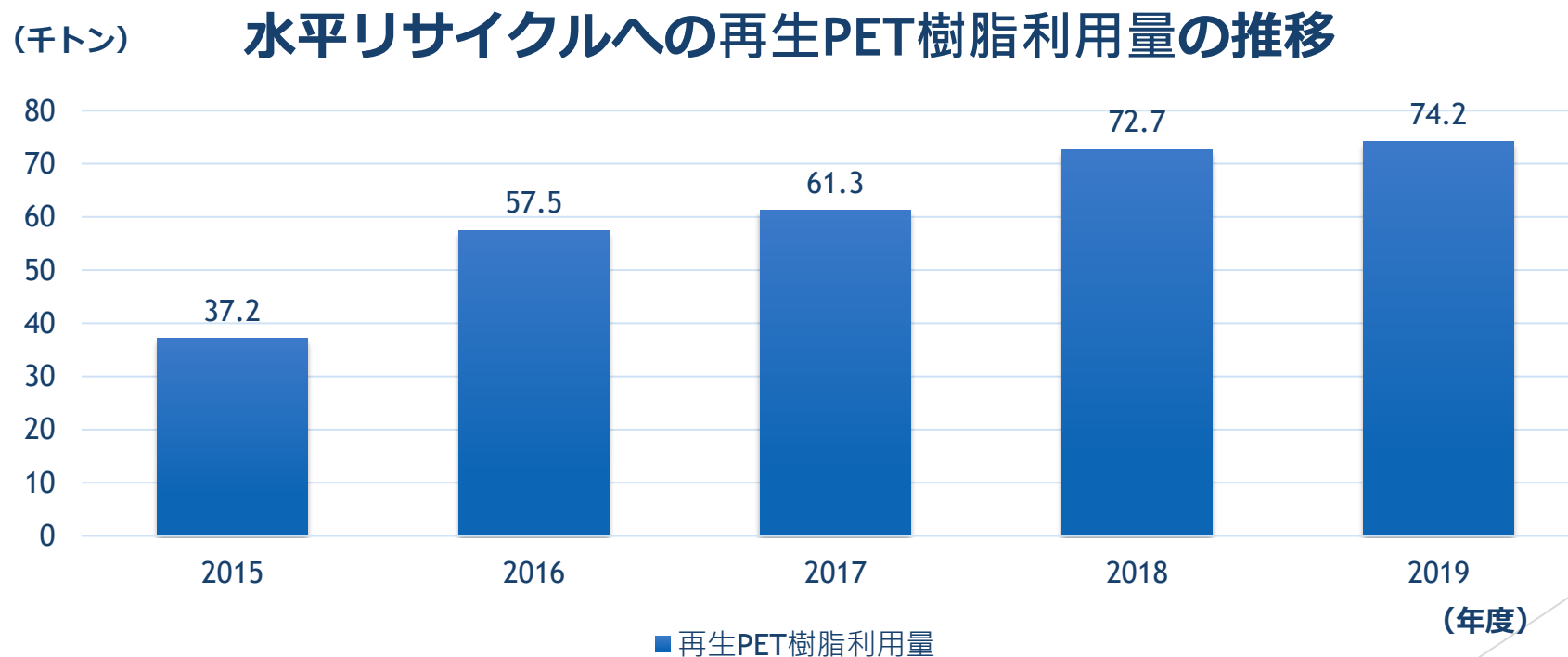


リサイクル後の用途

製品	利用量 (千トン)	構成比
ペットボトル	74.2	24.3%
シート（食品用トレイ、工業用トレイなど）	132.6	43.5%
繊維（衣類、インテリアなど）	63.1	20.7%
成形品（回収ボックス、建材、ごみ袋など）	6.9	2.3%
輸出向けペレット	28.1	9.2%
その他（添加材、塗料用、フィルムなど）	0.04	0.01%

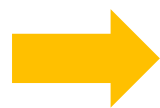
水平リサイクル（ボトルtoボトル）

2019年度の水平リサイクルによる指定ペットボトルへの利用は74.2千トン（前年度比2.1%増）



ペットボトルのリサイクル率

現在のリサイクル率は...



2025年までに
100%
を目指そう！

リサイクル率100%を目指して

ペットボトルのリサイクルの妨げ

- リサイクルボックスへのペットボトル以外のごみの投棄
- アフターユース（後利用）したペットボトルの廃棄
- 着色ボトルの使用



リサイクルをスムーズに進めるために

- リサイクルボックスなどのペットボトル回収容器にペットボトル以外のものを捨てない
- 市町村で定められたペットボトルごみの廃棄方法を守る
- 商品を購入するときにリサイクルのことを考える

最後に

まとめ

- 環境問題は待ったなしの状態。急ピッチでの取り組みが必要！
- ペットボトルリサイクル率100%を目指す！リサイクルが当たり前の社会に
- ペットボトルのリサイクルをきっかけとして、その他の環境問題にも目を向け行動を！

質疑応答

ご質問のある方は手を挙げてご質問ください

本日はご参加ありがとうございました

本日の内容についてより詳しくお知りになりたい方は、当団体のWebサイトにアクセスしてください。

<https://www.〇〇〇〇〇.xx.jp/>

後日、当団体Webサイトにて本日のセミナーの様子を動画で配信いたします。